

平成23年度
(平成22年度分)

事務事業評価票

C 定型・維持管理型

No.

1010005

I 事業の概要

通常評価

I-1 事業の概要

事務事業名	国際的な地球温暖化対策の推進（「イクレイとの連携強化」）		所管局部課等	環境政策局地球温暖化対策室
			(連絡先)	2 2 2 - 4 5 5 5
	ホームページアドレス http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/soshiki/5-7-0-0-0.html		(評価票作成者)	「DO YOU KYOTO?」プロジェクト推進担当課長 上田 誠
22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性 現状のまま継続	24予算額 (千円)	事務事業の内容
2,512	2,648		3,077	イクレイ（持続可能性を目指す自治体協議会）と連携し，地球温暖化対策に関する国際的な交流や情報交換を行い，そこで得られた情報を本市における地球温暖化対策のための施策やその見直しに生かす。
業務運営方法	■ 直営		委託(補助)先の名称，委託(補助)の内容	
	☐ 部分委託			
	☐ 部分補助等			
	☐ 全部委託			
	☐ 全部補助等			
実施根拠 (法令，条例，規則，要綱等)	京都市地球温暖化対策条例 京都市地球温暖化対策計画（2011-2020）			事務事業の 性格
				☐ 義務的事業 ■ 任意的事業
				会計区分
				■ 一般会計 ☐ 特別会計

I-2 投入量

	No.	区分	H20年度決算	H21年度決算	H22年度決算	H23年度予算	H24年度予算
年間経費等推移 (千円)	①	事業費 (千円)	4,933	7,199	2,512	2,648	3,077
		負担金補助及び交付金（イクレイ会費等）	690	690	690	810	810
		需用費	98	193		200	200
		旅費	2,684	2,924	514	280	709
		その他（役務費・使用料等）	1,461	1,892	1,308	1,358	1,358
	①'	委託料		1,500			
	②	委託料が事業費に占める割合（①' ÷ ①） (%)		20.8%			
	③	人件費（24年度は見込） (千円)	19,400	19,109	14,527	4,825	5,645
		職員(課長級) (人)	0.20	0.20	0.10	0.10	0.10
		職員(課長補佐級、係長級) (人)	1.35	1.35	1.15	0.20	0.20
		職員(係員) (人)	0.30	0.30	0.20	0.20	0.30
		嘱託職員等人件費 (千円)					
	④	年間経費（①+③） (千円)	24,332	26,308	17,039	7,473	8,722
	⑤	特定財源（市税等の一般財源以外） (千円)	184	184	181	158	158
		国庫・府支出金 (千円)					
		受益者負担分(使用料, 手数料等) (千円)	184	184	181	158	158
		その他 () (千円)					
	⑥	京都市年間負担経費（④-⑤） (千円)	24,148	26,124	16,858	7,315	8,564
	⑦	受益者負担率（受益者負担分÷④） (%)	0.8%	0.7%	1.1%	2.1%	1.8%

平成23年度
(平成22年度分)

Ⅱ 評価結果

事業名

国際的な地球温暖化対策の推進（「イクレイとの連携強化」）

Ⅱ-2 業績評価（Ⅱ-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略）

A 効率性	No.	区 分	単位	H20年度	H21年度	H 2 2 年度	
	①	イクレイを通じた情報交換		回	6	12	10
	②	年間経費（事業費及び人件費の合計額）		千円	24,332	26,308	17,039
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）		円/単位	4,055,363	2,192,374	1,703,857
	④	単位当たり経費変動率				-45.9%	-22.3%
					評価	かなり良くなった	かなり良くなった
分 析	(コスト変動の理由等)						
	平成 2 1 年度と比べ、平成 2 2 年度の経費が減少したため効率性が良くなった。 平成 2 1 年度と比べ情報交換会の出席回数が減ったが、平成 2 2 年度の経費が大きく減少したため効率性が良くなった。						
B 市民満足度	<調査の有無>		<調査方法>		<調査時期>		
	☐ 有 ☒ 無 ☐ 該当しない						
	(調査結果、現状分析等)						
C 環境保全 及び環境負荷軽減の要素	■ 環境		<現状分析、今後の方針等>				
	☐ 関連		海外の環境先進自治体との交流や情報交換を行うことによって、本市の地球温暖化対策に生かすことはもとより、本市の経験や技術を海外の自治体における地球温暖化対策や公害対策等に活用することができる。				
	☐ 一般						

平成23年度の実施状況

- ・地球温暖化対策に関する国内外の情報を収集した。
- ・イクレイ世界理事会に参加し、イクレイ組織のあり方等を議論した。
- ・都市気候レジストリ第一次報告書に本市の気候変動対策を掲載し、本市の取組や成果などを世界に発信した。

Ⅲ 今後の方向性

(今後の方向性の理由及び具体的な内容)	
現状のまま継続	地球温暖化対策を進めるうえで市民に最も身近な自治体の果たす役割は大きく、引き続き海外の自治体と連携して地球温暖化対策に取り組むとともに、京都議定書誕生の地として、イクレイを通じて世界の自治体に向けて本市の取組を発信していく。